



平成30年後期（7月～12月）スケジュール（その1）

期間	種類	特別展示名	開催目的	展示内容	担当
7月23日 ～ 7月27日	特別	8月は食品衛生月間 ～家族に安全な食事を！！～	消費者の皆様に、食の安全に必要な知識を身につけていただく	食中毒の原因施設の2位はなんと家庭！！ 家庭で食中毒を起こさないよう、食事を作る前の手洗い方法、冷蔵庫の衛生管理のほか、材料の買い出しのための食品表示の見方などの情報を展示！	公益社団法人 日本食品衛生協会 出版部普及課
7月30日 ～ 8月3日	特別	「ガムの楽しさと噛むことの大切さを考える！」 チューインガムでリラックス！！噛むことの大切さを考えよう	食育の観点から、ガムを通じた噛むことの大切さを伝えるとともに、ポイ捨て防止とといったマナーを周知する。	・会員各社のチューインガム展示 ・チューインガムの機能・効用、製造工程等をパネルで紹介 ・ガムのポイ捨て防止とマナー啓発のPR ・チクルの展示 ・親子で体験する「手作りチューインガム教室」を開催予定（回数未定）。	食料産業局 食品製造課
8月6日 ～ 8月10日	特別	カレーの秘密 ～カレーで健康な体づくりを～	カレー（スパイス）に関する豊富な情報の提供により、カレーの魅力と秘密に迫り、カレーを通じた健康な体作りの提案等を行う。	・カレー製品とカレー粉を構成するスパイスの展示・説明 ・カレーの歴史、種類、健康への効果、製造工程等に関するパネル展示 ・カレーができるまでのDVD上映 ・体験コーナー（ガラムマサラ作り） ・レシピ等の配布など	食料産業局 食品製造課
8月20日 ～ 8月24日	特別	「明治150年」特別展示 ～明治から学ぶ持続可能な食料政策～ 日本を強くした「栄養改善」と「食品産業」	明治期の食や食品製造発展の歴史から学び、現代の「食」や「栄養」を考える。	明治期の食と栄養の概念や明治期に発展、成長した食品製造業等について、関連する資料やパネル等の展示を行う。	食料産業局 企画課 食品製造課
8月27日 ～ 8月31日	特別	考えていますか、災害時の食料のこと ～家庭備蓄で災害時も安心～	家庭での食料品備蓄の実施拡大につなげる。 また、農林水産省が行う災害対策の理解を深める。	9月1日は防災の日です。大規模災害発生時には食料が手に入らなくなる可能性があり、日頃から最低でも3日分、出来れば1週間分程度の家庭備蓄に取組むことが重要です。期間中は、家庭備蓄に係るパネルや備蓄に使える食品の展示、パンフレットの配布等を行います。また、農林水産省が実施する被災地への応急食料の供給や農林水産関係の被害の復旧への取組も紹介します。	大臣官房政策課 食料安全保障室 大臣官房文書課 災害総合対策室
9月3日 ～ 9月7日	特別	お米でみんなを元気に！ ～食べて！見て！知ろう！ お米・米粉の魅力～	家庭用、中食・外食用、給食用それぞれのお米（米飯）の取組の紹介や、米粉を利用した新商品の紹介等を通じ、米の消費拡大を図る。	◇米・米粉食品の試食 ◇米飯学校給食の推進・米粉のレシピ集等、米の消費拡大についてのパンフレット配布、米粉食品の展示 ◇パネル及びポスターの展示 等	政策統括官付 穀物課
9月25日 ～ 9月28日	特別	バイオテクノロジーで新しい花をつくる！	最先端のバイオテクノロジーによって作出された農林水産物等の研究成果を展示することにより、国民の理解増進を図る。	近年、急速に開発が進められているゲノム編集技術等の最先端バイオテクノロジーについて、アニメーション動画の放映、パネル、農作物、樹脂標本等の展示を行う。	農林水産技術会議 事務局 研究企画課技術安全室
10月1日 ～ 10月5日	特別	ココロにうれしい、冷凍食品	冷凍食品産業の振興と消費者啓発	10月18日は「冷凍食品の日」です。冷凍食品の利用により、時間の余裕と心のゆとりが生まれ、生活の質を向上させることができます。-18℃以下で管理されているため細菌が活動できず衛生的なこと、急速凍結により栄養や美味しさが保たれていること等を紹介いたします。さらに、日々進化する冷凍食品の品質やおいしさについて、試食を通じて実感していただきます。	食料産業局 食品製造課
10月9日 ～ 10月12日	特別	仮）統計でみる「農林水産業の姿」	統計に対する消費者等国民の理解と関心を深め、統計調査に対する国民の一層の協力の推進を図る。	10月18日は「統計の日」です。農林水産統計調査等の結果から見た全国及び地域の農林水産業をパネル・報告書等で紹介するとともに、水稲収穫量調査のしくみ等について展示を行います。	統計部 統計企画管理官
10月15日 ～ 10月19日	特別	森からの恵み ～きのこなどの特用林産物の週～	特用林産物に関する理解の促進と、需要拡大	毎年10月15日は「きのこの日」です。きのこ類や、木炭、竹、漆等の特用林産物について、パネル、パンフレット等によりわかりやすく解説するとともに、珍しいきのこや木炭、炭、竹等を展示します。	林野庁林政部経営 課特用林産物対策室
10月22日 ～ 10月26日	特別	もっと魚のある生活を ～地域を元気にする国産水産物の魅力～	家庭で手軽に食べられる水産加工品、漁師が勤める旬の魚、水産物の優れた栄養特性等を紹介し、水産物の消費拡大を図る。	手軽に食べられる水産加工品（ファストフィッシュ）や漁師が勤める旬の魚（プライドフィッシュ）の魅力、水産物が持つ優れた栄養面の特性等を紹介する。	水産庁漁政部 加工流通課
10月29日 ～ 11月2日	特別	さつまいも・ジャガイモの週 ～いもの多様な品種と加工品などのご紹介～	さつまいも・じゃがいもが多く出回る秋の季節に、いもへの理解を深めていただくことにより、消費の拡大を図る。	さつまいも、じゃがいもは、家庭やレストランで調理する青果用だけでなく、工場でポテトチップやポテトサラダなどに加工する加工用、焼酎の原料となるアルコール用、でん粉の原料用など様々な用途に利用され、それぞれの用途に合った多くの品種が作られています。本展示では、いもの品種やその加工品、いもでん粉から作られる製品などをご紹介します。	政策統括官付 地域作物課



平成30年後期（7月～12月）スケジュール（その2）

期間	種類	特別展示名	開催目的	展示内容	担当
11月5日 ～ 11月9日	特別	岩手県・宮城県・福島県 農業農村復旧復興パネル展	全国各地からの応援に感謝を込めて、東日本大震災の被災地から、復旧復興の歩みと被災地の今を伝える。	岩手県・宮城県・福島県における東日本大震災の農業農村復旧復興状況をお知らせし、全国からの応援に感謝を伝えるとともに、収穫した農産物の消費を呼びかけるパネル展	宮城県農林水産部 農村振興課
11月12日 ～ 11月16日	特別	「和の空間」でおもてなし～伝統ある和の文化 お茶、畳、和装の紹介～	我が国の伝統である和の文化の素晴らしさを消費者に訴求し、理解をふかめてもらうことにより、国産のお茶、いぐさ製品、花きの消費拡大を図る。	我が国の伝統であるお茶・畳・和装をパネル等でわかりやすく紹介します。展示ではバラエティ豊富な製品をご紹介しますとともに、原料となるお茶、いぐさ、蚕糸や花きなどをご紹介します。	生産局地域対策官付
11月19日 ～ 11月22日	特別	「消費者の部屋」へ来ると白神山地の麓「深浦町」を体感できます！	新規就農者が栽培した農産物を通して消費者との交流を図り、消費者からの意見を営業活動に活かす。	青森県深浦町は半農半漁と観光の町です。西に日本海を望み、東に世界自然遺産「白神山」津軽国定公園「十二湖」を代表する「青池」など、私たちに多くの恵みと感動を与えてくれる豊かで美しい自然を紹介するとともに、少子高齢の進む深浦町において、農業の担い手である新規就農者を育成する取組と新規就農者が栽培した農産物をご紹介します。	青森県深浦町 農林水産課
11月26日 ～ 11月30日	特別	太陽と大地の恵み 砂糖～日本の砂糖の安定供給を支える仕組み～	砂糖を購入することが、北海道や鹿児島、沖縄の甘味資源作物生産農家等への支援に繋がることなど、価格調整制度の仕組みについて理解を深めてもらう。	砂糖は私たちが生活する上で欠かすことの出来ない食品であり、日本の食料自給率の維持にも大きく寄与しています。私たちが毎日摂取しているお砂糖の安定供給を支える仕組みをわかりやすく紹介します。また、ひと口に砂糖といっても、その形、色、風味も様々です。バラエティ豊富な砂糖とそれぞれの特性を紹介するとともに、さとうきびやてん菜が地域経済や雇用に貢献していることを紹介します。	政策統括官付 地域作物課
12月7日 ～ 12月7日	特別	来て、見て、食べて「お米」を学ぼう！～明治150年記念展示～	明治期を含む米の流通・消費の歴史等を通じて米に関する文化の発展を促す。ごはんの健康性の訴求等により、米の消費拡大を推進する。	明治150年関連施策の一環として米穀安定供給確保支援機構が収集・整理しアーカイフ化を進めている米の流通・消費に関する史料等の紹介のほか、明治期の水稻品種及び米食の健康性に関するパネル展示を行うとともに、現物展示及びごはんの試食(食べ比べ)を行う。	政策統括官付 農産企画課
12月10日 ～ 12月14日	特別	世界農業遺産・日本農業遺産	世界農業遺産・日本農業遺産の認知度の向上を図る。	世界農業遺産・日本農業遺産は、伝統的な農林水産業が、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり受け継がれる中で、特徴的なランドスケープ、文化、生物多様性などが育まれてきた地域を認定する制度です。国内の農業遺産認定地域の協力のもと、農業遺産の魅力をお伝えします。	農村振興局 農村政策部 農村環境課
12月17日 ～ 12月21日	特別	いわて北三陸・洋野町の魅力紹介！技ありの海・里・山の幸盛りたくさん！	洋野町の農林畜水産物とその生産技術の紹介を通じて、生産・消費拡大を図るとともに、生産量・品質を支える生産者の確保を図る。	120年の伝統を誇るヘルメット式潜水技術「南部もぐり」による天然ホヤ漁、「増殖溝」による身入り抜群のウニ生産といった世界唯一の水産関連技術や、海から山まで多彩な農林畜水産物・木工製品を紹介します。	水産庁 漁政部 企画課

※この展示スケジュールは、予告なく追加・変更されることがあります。

※常設展示はパネル等の展示のみとなります。

- (1) 入場無料です。
- (2) 特別展示は、期間中の月曜日から金曜日まで行っています。ただし、祝祭日、年末年始は閉室です。
- (3) 開室時間は、10時から17時までです。ただし、展示初日は12時から17時、展示最終日は10時から13時です。

詳しくは、消費者の部屋にお問い合わせ下さい。TEL:03-3591-6529

農林水産省本省「消費者の部屋」のご案内

「消費者の部屋」は、農林水産省が消費者の皆さまとコミュニケーションを深めるために、農林水産行政や食生活などについての情報提供を行っています。これからもよりよい消費者行政を目指して参りますので、どうぞお気軽にご利用下さい。

【連絡先】

住所：〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
 電話：03-3591-6529（一般相談）
 03-5512-1115（子ども相談）
 FAX：03-5512-7651
 ホームページ：http://www.maff.go.jp/j/heyaj/
 開室時間：月～金曜日の10時～17時（祝日・年末年始を除く。）
 （ただし、特別展示の初日は12時から、最終日は13時まで）

